

## 4月1日から地域おこし協力隊が1名着任します

花巻市では、都市地域の意欲ある人材を積極的に受け入れ、地域おこし協力隊として地域の活性化に取り組んでいただくため、隊員の募集を行ってきました。令和5年度は2名が着任予定となっており、4月1日付で1名が着任し、5月1日付でもう1名が着任する予定です。

4月1日付で着任する「宮川 裕輔(みやがわ ゆうすけ)」さんは、大迫総合支所地域振興課に所属し、市が募集した「大迫地域でぶどう栽培技術を磨いて、ぶどう農家として就農」というテーマで活動に取り組んでいただきます。

### 宮川 裕輔さんのプロフィール

|              |   |
|--------------|---|
| 氏名           | 宮川 裕輔(みやがわ ゆうすけ)  |
| 着任年月日        | 令和5年4月1日  |
| 前住所          | 愛知県半田市  |
| 活動テーマ        | 大迫地域でぶどう栽培技術を磨いて、ぶどう農家として就農   |
| 花巻での活動への意気込み | 私は、「ぶどう栽培技術を磨いて、ぶどう農家として就農」を活動テーマとしてこの程着任致しました。大学在学中にイタリアに旅行した時、ワインの魅力を体験したことから、神楽とワインの里大迫町で協力隊として、ぶどう栽培技術を覚えて就農し、将来的にワインを作りたいと思ったからです。大迫の葡萄ヶ丘農業研究所にて、品種毎の土壌、病気、害虫、農薬等について勉強し、園地での実践を通して大迫町の気象と土壌に適した新たなぶどう栽培の研究にも挑戦したいと思います。ぶどう栽培を通じて大迫の魅力を伝えたいです。 |

▶着任式 令和5年4月3日(月) 11:30～ 市役所本庁舎応接室

### 《隊員募集について》

今回の隊員募集は、市が開設したオンラインサロン「花巻」AMセッションへ参加していただく中で、隊員募集を行ったものです。

このオンラインサロンは、市民と移住希望者等が参加し、花巻の魅力を再認識や地域との関わり方のイメージを持つことを目的とし、花巻の地域資源活用のアイデアを出し合うもので、令和4年度においては、「大迫地域でぶどう栽培技術を磨いて、ぶどう農家として就農」「東和地域田瀬湖周辺観光施設を中心とした地域活性化」などの募集テーマを示した上で、令和4年10月から12月までに延べ6回開催しました。

その中で、様々な発想に触れ、花巻への理解を深めるとともに、隊員に興味を持っていただき、テーマに沿って自らの活動内容を練り上げたうえで、応募していただきました。

### 《その他》

○花巻市では、令和5年4月1日現在で延べ25名の方が地域住民の方々と連携を図りながら活動に取り組み、同日現在で18名の隊員が任期を終了し、退任時に市内に定住した隊員は13名となっております。

(4月1日現在の花巻市地域おこし協力隊は、新たに着任した宮川裕輔さんも含め7名になります)

○地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として任用し、隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民生活の支援等の「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る総務省の取り組みです。

※地域おこし協力隊制度の詳細は、総務省の地域おこし協力隊に関するサイトにてご確認ください。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/02gyousei08\\_03000066.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/02gyousei08_03000066.html)



専用サイト